

# 大野市報



秀峯荒島岳や赤根川の清流も、太古そのままの姿に昭和34年の元朝は明け初めました。亥年にちなみ、今年さらに5万市民一致団結し大野楽園の建設に努力することを誓いましょう。

## 住みよい郷土作りに

大野市議会議長 森嶋開造



昭和三十四年の新春を迎えました市民の皆さま、明けましてお芽でとうございませう。

昨年また、四年連続の豊作で農家の皆さまのおよろこびも、さこそと存じ心からお祝い申し上げます。

線も本年度中には汽笛の音を聞くことができるようになるであります。

先般、織物を主要産物とする二十七市の議会議長で、織維関係都市の不況対策協議会を結成しまして、強くこれが対策の樹立を政府に要望しているのであります。何とか光明をみいだすべく努力中であります。

本年もまた、市民の皆さまが住みがいのある大野市だと喜んでいただける立派な施策をたてたいと思っております。たとえば汽車が開通いたしますと、同時に大工場の誘致

対策を樹立するとか、奥地における電源開発に關しましては市政挙げて努力し、早期着工に協力せねばならないと考えております。

かくのごとき各種事業の実現は、議決機関であるわれら議会と執行機関である市長とがその職分をよく理解し、互いに相寄り相助け有効にして適切な政策を樹立することにあります。私どもは市民の皆様のご期待にそうべく懸命の努力を捧げる覚悟であります。四万五千市民の皆さまがた

も、それぞれの立場をよく理解され、その職分を完了されしかも健康で幸多い一年でありますようお祈りして、新年のごあいさつといたします。

## 高松宮二日程

- △二月六日 十時福井御着 十三時三十分福井御着、十四時二十分大野御着、十四時三十分有終中学校御着、十五時開会式、十六時選手歓迎会、十六時二十分組織委員とお茶の会、十六時五十分有終中学校御着、十七時俵屋御着、十八時地元歓迎会。
- △七日 九時俵屋御着、十時六呂師御着。
- △八日九時御宿舎御着、九時五十分伏石御着、十五時三十分閉会式、十六時十分会場御着、十六時五十分大野御着、十七時大野御着。



▼元旦、新雪を踏んで鎮守様におまいりする気持ち、雪国の人ならでは味わい得ない新鮮なものである。フジヤマと世界に名高いのもあの雪嶺があるからだと思う。▼雪を求めて都心から雪国に訪れる若人たちは、近年ますます増加する傾向にある。広大な純白のシーツに似た山肌を、ゲレンデを心ゆくまで馳けるスキートの醍醐味は、ウインター・スポーツの白眉である。▼

ところが最近、山岳遭難が相ついで報ぜられる。夏山よりも特に冬山に多いのは、激変する気象に起因することだが一体に自然に対する無理解から起きることが最大の原因だ。▼映画「遭難」をみた人は、あの谷川岳の死を悼むのは言うまでもないが、死そのものが何か美化されすぎている事を感じはしないか。死者への愛惜と反省とはもつと敵爾に区別されねばならない。▼最近のスキーヤー達は、トレール・ニングなしに山に行く、夜行のスキー列車で一睡もせず騒いで、いきなり頂上から直滑降とては、全く無茶と云う外はない。▼来る二月六日、八日まで、再びわが大野市に高松宮様を迎え六呂師が原に第九回中部日本高松宮賜杯スキー大会が展開される。単にスキー熱を上げるだけでなく基本的なものが学ばれるよい機会と言いたい。

栄光に輝く昭和三十四年の新春を迎え、親愛なる市民の皆さまに心からお祝辞申し上げます。



## 平和で豊かな生活を希う

大野市長 森廣治兵衛

願ひますすに何かと多端でありました昭和三十三年も市民各位ならびに關係各方面の厚いご同情とご支援により行政各般にわたり順調に押し進めることができて、ここに意義深い元旦を迎えるにあたり、いさ

と市民福祉の増進に、日夜微力を尽してまい進してきましたが、今後も健全財政を堅持しつつ市の建設面についてはとくに超重点性を保持し、新市建設五カ年計画に基づいて

の暁には奥地宝庫の開発と農林資源の高度利用や多角化、それに商工業の近代化を進めるとともに新興繊維の導入に伴う機業の発展を図るほか、天恵の観光資源の活用など数多くの市政問題が一躍活気

を呈することを思うとき慶びを禁じえません。これらの実現も、真に市民各位ならびに關係各方面のご理解あるご協力があつてこそ具現して行くものと信じています。

元且を迎えるの一端を申述べまして、よりよきご指導とご支援を得、さらに市政の飛躍発展の基盤を固めたいと思ひます

に入らんとする市政の運営にこん身の努力を尽したいと思ひます。幸いにも市発展のバック・ボーンともいえる越美北線も新年度中には西勝原―福井間の開通が予想されますので、こ

す市政の運営にこん身の努力を尽したいと思ひます。幸いにも市発展のバック・ボーンともいえる越美北線も新年度中には西勝原―福井間の開通が予想されますので、こ

す市政の運営にこん身の努力を尽したいと思ひます。幸いにも市発展のバック・ボーンともいえる越美北線も新年度中には西勝原―福井間の開通が予想されますので、こ



感謝の気持を

七間 九里太右衛門(60) 商業

六回目の亥年を迎え思い出を新にして意義ある本年を送りたいと思ひます。亥年の人の性格として、何事にもひたむきな情熱を傾けてやり遂げる長所のある一面、猪突猛進、暴走する懸念があることは否定し難いところでありましょう。

現在の社会は権利の主張に対して義務の履行がなされず、世

五回目の亥年をむかえ心より喜んでいきます。しし首と申しまして、しし首を曲げずに進むと言いますが、三十四年目は木炭が安いので首が曲がらずほとんどに困りましたが、三十四年は曲るしし首になりたいたいと思ひます。よい木炭を作つてよく売れるようにしたいものです。皆さんのご家庭でもよい木炭を沢山お使いくださいませう、大きい夢を見ています。

首が曲るよう

若生子 酒田貞二(48) 農業

三番下 鮎川正(60) 商業

観光施設の充実を

待望の越美線の開通も間近に迫り、物静かであつた市内も終日交通量が激しくなつて来た。というあんばいに、世の移り変わりとともに、わたくしも多忙の明け暮れの内に六回の亥年の春を迎えた。

今年には皇太子さまのご結婚という誠におめでたい年柄で、国民あけてお祝い申しあげねばならない。このおめでたい年がわたしの当り年とはほんとうに幸いである。今年も健康で幸い多い年であれ、と望んでいるしだいである。

の中が何となく冷たくトゲトゲしい感じを受けるのではないでしょう。もつと暖かく明るい社会環境の中で暮すことが、わたしたちの理想であらねばなりません。それには社会を作つているお互いが今一段と「感謝の心」を喚起すべきだと信ずるのであります。

新庁舎が欲しい

清水 田中竹次郎(60) 民生委員

「皆さんご苦労さんでございませう」「ご労苦を感謝いたします」このことばほどわたくしちの心の琴線に触れるものはありません。この心を源泉として家庭愛、友愛、郷土愛をすこやかに育て上げ、ひいては平和な社会建設を心から願ひいたします。

婦人の知識を向上

新田 松田すみ子(36) 農業

市となつて最早六年目を迎えるようとしておりますが、市の財政についてはくわしく知りませんでした。

飛躍発展を希う

春日三 福山喜兵衛(60) 機業

去る十一月二十日、下庄小学校に於きまして「明るい婦人と政治」の会合で、池田助役さんから市の財政について、こまご

あらたまの年を幾度か迎えて来たのだが、やはり自分の当り年は、我が年だと思ふせいか張り切り方が違つてくる。亥年は向

く装われ明るい町になつて行く事は嬉しい事だが、皇太子さまご結婚の記念に、奥越観光客や市民の憩ひの場所として亀山公園の切下整地を行い、春はサクラやツツジでうずめ、秋は紅葉を楽しむ、また新しい文化施設や福祉施設をして婦人のお方や子供さん老いも若きも知らず知らずに足が運べるようにしては

に感じたが今では平気である、その如くに。区長の仕事が大変多くなつた副を承つていたので判がもつと優遇してよい。それ位の予算の捻出ができぬことはなからう納税は早くしてほしい、国保税も同然。だが年末徴税とか攻勢とかいふ新語はほめたことではない。遺家族、母子家庭、孤児など

うみずといわれるが、その通りわたくしは萬難を克服して突進したい方なのだ。それにつけても思われるのは旧市内の何と見付けの多い事か以前よりは充分整備されたものの、まだまだである。何とか郊外に突きぬける一直線道路に区画整理されないものだろうか。市の南北には鉄筋三階文化アパートが建ち、亀山にヘルスセンターが出来、越美線にジーゼルカーが走り、大蔵、農林大臣が出る、総社が出来る、リンダとともに青森方面から織姫が数千名やつてくる。これらは初夢に見たい夢であ

長生したかいがある

御給 山田輝治(72) 農業

七度目の亥年を迎え、老いの身にはあまりにも時代が進歩して長生きしたかいがしみじみと味わわれます。ひうち石で火をつけたのがマッチとなり、毎晩種油であんどん、石油でカンテラの生活

新春俳句

二番上 大久保小静 雪国に稀の日やお元日 松も過ぎ常着に己れ取りもとどす 中神明 山奥いはは 二日はや色足袋はいて厨妻 羽子しかと抱きて啞の子たち 尽す 清水 田中星眠子 松飾り小さきままに庶民の贅 貧しさのそこに極まる鏡餅 四番上 藤 豊 子 焚きそめる手は母の手よ主婦の手よ

へる。この夢が一日も早く実現される事をわたしは希う。わたしの区ではもう富田地区と小山地区を貫く幹線道路が着工されつつあり、一と苦勞して渡つた真名川にも立派な橋が架けられて、渡り初式をみる事が出来るよううなうれしいことがありません。長生きのご恩あればこそ合掌せずにはおられません。

からスイッチ一つで電燈がつきギットンギットンと米ツキが精米機に、わらじがけの足がゴム靴と随分変わったものです。また朝、星を頂だいて馬に乗り真名川を渡り田草刈と石灰で反当一石二、三斗もとれば上作でありましたし、スキ、クワや馬耕をたよりに田ならししたあの無駄骨も、今にして思えば昔の思い出となりました。バスやロマンスカーが走り、ラジオを聞くなど、昔の人間には不思議なことばかりです。

今年亥(イ)年です。亥(猪)というけものは向う見ずに突進する特性だそう。左右を見ず突進することは、功を奏することもあります。この反面危険なこともあります。昔から猪武者といつて、人間にもこのような人があります。とくに独裁政治家や事業家などには、こうした性格の人は少くありません。さてそこで、大野の古今をながめたとき、この亥年にはこうした突進的な人物や事業があつたかどうか参考に亥年の越前および大野の歴史を調べて見ることにします

- 西紀五〇七 越前に隠れていた 道元禪師
- 一一二七(安貞元年) 道元禪師が宋国より帰朝した(六九三年前)
- 一一七九(治承三年) 平清盛が志比の庄を平泉寺に寄進した(七八八年前)
- 一一〇三(建仁三年) 小山の庄 皇室御領となり執権北条義時がこれを管理する(七五七年前)
- 一一九九(正安元年) 宝慶寺開山寂円禪師入滅。義雲禪師二世となる
- 一二九二(寛永二年) 松平直政、大野城主より信州松本七万石に、松平直基、大野五万石に、
- 一四六七(応仁元年) 応仁の乱に当り斯波氏の部将二宮将監朝倉軍に攻められ富田郷の田野村にて戦死する(四九三年前)
- 一五七五(天正三年) 織田信長越前の一向一揆を討つ。金森
- 一七九一(寛政三年) 面谷銅山城主となる(三二五年前)
- 一六八三(天和三年) 大野初代藩主土井利房卒去した。
- 藩主土井利房卒去した。
- 面谷銅山隆盛、銅の産出未曾有であった。(二七七年前)
- 一七一九(享保四年) 若生子仙翁鉱山採掘をはじめた(二四
- 一七九一(寛政三年) 面谷銅山大黒砲発見。幕府より金五千両を借り事業を拡大した(一六九年前)
- 一八一五(文化二年) 大洪水堀兼堤防つけか、大野盆地の水害多大であった(一四五
- 一八二七(文政一〇年) 三月十九日野口村(篠座下)より出火大野全町殆ど焼失。千二百余戸におよぶ。これを大根葉火事と称する(一三三三年前)
- 一八三九(天保一〇年) 土井利忠始めて蘭学を小関三英に学ぶ(二二二年前)
- 一八五一(嘉永四年) 大野藩、種痘を南山中(今の西谷村)の小児に試みた(一〇九年前)
- 一八六三(文久三年) 早川弥五
- 左衛門、樺大にて露人と接衝し一歩も退かなかつた(九七
- 一八八七(明治二〇年) 竹尾茂
- 一八九一(明治四四年) 大野郡立実業女学校を大野町に設立した(四九年前)
- 一九二二(大正一二年) 関東大震災、鯖江三十六連隊東京警備に出動
- 郡制廃止となる(三三七年前)
- 一九三五(昭和一〇年) 中龍鉱山本格的に採掘をはじめ。
- 鯖江三十六連隊満州警備に出動(二五年前)
- 一九四七(昭和二年) 十月二十五日、天皇陛下大野郡に成らせらる(一三三年前)

### 六呂師 高原に スキーリフト完成

県立公園奥越高原、六呂師スキー場、三角山グレンデに総工費八〇〇万円、延長五一〇メートルのスキーリフトが完成しました。

このリフトは、わが国サク道界の権威、東京都の玉村サク道の手によつて工事を急いでいしましたが、さる十二月十七日全工事が完成し、同日午前十一時に奥越観光連盟会長玉村忠雄氏や大野交通K社長加藤哲次郎氏らのほか一〇〇余名の観覧者の注目のうちに初運転が行われました。

同リフトは三角山ふもとの第



(写真は初運転・リフト中腹)

ニヒユツテ横 標高五二〇メートルの地点を起点に東方へ延長五一〇メートル、標高六三〇メートルの所が終点になっています。リフトには一〇〇個のイスが着いていて、一分間に約五〇人のスキーヤーを運ぶことができ、この方の施設としては北陸随一といわれています。

リフトの終点は大野盆地を一望に見張せるほか、荒島岳、部子山を指呼のうちに展望でき、またはるか坂井平野の一角やハエボツシ峠なども望まれます。玉村会長は、このスバラシイ展望をたたえて、今後は四季を

### 亥年と大野市 猪突の歴史も少くない

長近美濃より大野郡にはいり大野の一揆を平定した。金森長近。大野に封ぜられ、大野亀山城建設に着手する(三八五年前)

一六三五(寛永一二年) 松平直政、大野城主より信州松本七万石に、松平直基、大野五万石に、

石に、松平直良、勝山三万石城主となる(三二五年前)

一六八三(天和三年) 大野初代藩主土井利房卒去した。

藩主土井利房卒去した。

面谷銅山隆盛、銅の産出未曾有であった。(二七七年前)

一七一九(享保四年) 若生子仙翁鉱山採掘をはじめた(二四

一七三二(享保一六年) 大雪、積雪四・九メートルにおよぶ(二二九年前)

一七五五(宝暦五年) 石徹白社人事件終結、その結果、上村豊前など死罪に処せられた(二〇五年前)

### 成人式は市一本で

ことしは六九八名

一月十五日は成人の日で国家の祝日です。ことし成人になる方は昭和十四年に誕生された男女青年の方々です。

従来、市では各地区の公民館が主催で別々に式典を行ってきましたが、しかし県内七市のうち五市が統一して行い、その成果を挙げている実情です。

昨夏以来、この事について色々な機関、団体を通じて研究した結果、市一本として成人式を行うことに決まりました。

大野市の次代を担う成人が一堂に会し、ひざをつき合せて語り合う事は、大きな意義がある

### 新入学児の健康診断

#### 一月中旬に

新入学児童のあるご家庭へは一月中旬までに健康診断の通知が届くことになっています。もし次にあてはまる入学児童に、通知が届かないときには市の教育委員会、または市役所の各出

張所へお申出ください。

▲大野市に居住している方で昭和二十七年四月二日から昭和二十八年四月一日までの間に出生された方。

昭和三十三年四月公布された学校保健法により、就学どきに健康診断を受けなければならぬことになりました。

この診断で、保健上の注意や助言のほか、就学義務の猶予、または免除、盲学校もしくは聾学校、または養護学校への就学についても、ご相談に必ず応ずることになっています。

健康診断のときは、保護者の方は必ず付き添ってきてください。